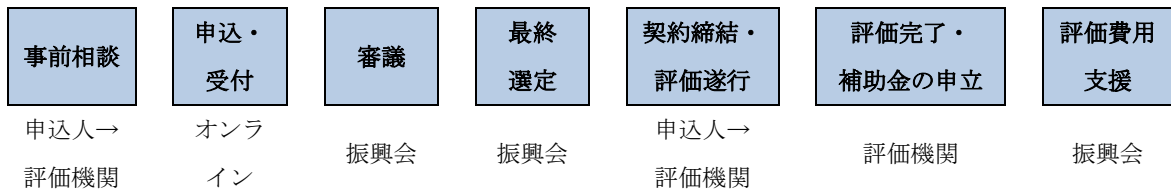


1 事業化連携の特許技術評価支援

- (事業の概要)登録された特許・実用新案に対する性能分析および比較分析、事業の妥当性、価値評価などを行うに当たって所要される評価費用を支援(1996年から現在まで継続事業)
- (支援の対象)個人または中小企業で、登録された特許・実用新案権利者および専用実施権者
- (支援の範囲)特許技術評価1件当たり最大5千万ウォン(自己負担30%)
- (支援の内容)特許庁が指定した評価機関により評価を受けた「特許技術評価報告書」を提供
 - 「特許技術評価報告書」は、特許技術の技術性・権利性・事業性の評価および技術価値の評価を含むもので、
 - 事業化に向けた資金調達、特許技術取引、事業の妥当性検討、国内外の技術認証、現物出資などのための資料として活用

□支援の手続き



□支援の実績

(単位：百万ウォン、件)

年度	申込件数	支援件数	競争率
2012	280	68	4.1 : 1
2013	293	64	4.7 : 1
2014.9	263	60	4.4 : 1

※2014年65件支援予定

□(事業の概要)保証機関から特許価値評価による保証書発給を受けられるよう、評価に所要される費用を支援

※(技術保証基金)2006年から施行、(信用保証基金)2013年から施行

□(支援の対象)申込日基準で登録された特許権を事業化する中小企業

□(支援の内容)特許庁は評価費用を支援し、保証機関は価値評価額内で企業当たり最大10億ウォン以内の範囲で保証書を発給

区分	評価費用合計	国庫支援金	備考
技術保証基金	5百万ウォン	5百万ウォン	-
信用保証基金	10百万ウォン	5百万ウォン	5百万ウォンは、貸出銀行で評価費用を支援

□支援の手続き

相談	予備 選定	評価支援 申込	評価費用支援 選定審査	特許技術 価値評価	保証書 発給	評価費用 支援
申込人→ 評価機関	保証 機関	申込人→ 評価機関	振興会	評価機関	保証機関	振興会

□支援の実績

(単位：百万ウォン、件)

年度	申込件数	支援件数	保証金額
2012	284	270	45,209
2013	230	195	40,705
2014.9	127	123	25,699

□(事業の概要) IP 担保のみでも貸出を受けられるよう、銀行から推薦された中小企業が保持している IP の価値評価に所要される評価費用を支援(2013 年から施行)

※特許技術価値評価の結果金額を担保の価値として認め、特許権を不動産と同様に取り扱う

□(支援の対象) 申込日基準で登録された特許権を事業化に活用している中小企業

□(支援の内容) 特許庁は評価費用を支援し、銀行は評価金額内で担保貸出を施行

※(貸出規模) 産業銀行は最大 20 億ウォン、その他銀行は 10 億ウォン

※(協約銀行、2014 年 10 月現在) 産業銀行、企業銀行、ウリ銀行、新韓銀行、国民銀行

評価費用合計	国庫支援金(90%)	備考
15 百万ウォン	13.5 百万ウォン	国庫支援金(13.5 百万ウォン)を除いた評価費用(1.5 百万ウォン)は、貸出施行銀行で負担

□(支援の手続き)

相談	予備 選定	評価支援 申込	評価費用支援 選定審査	特許技術 価値評価	貸出可否の 決定	評価費用 支援
申込人→ 協約銀行	協約 銀行	申込人→ 振興会	振興会	評価機関	協約銀行	振興会

□支援の実績

(単位：百万ウォン、件)

年度	申込件数	支援件数	貸出金額
2013	24	18	16,902
2014.9	95	74	63,061

※2013 年 3 月産業銀行 MOU 締結および下半期(9 月)から貸出施行